

平成17年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成17年4月22日			記入者	内線 3174
部 名	環境保全部	課 名	みどり対策課	課長名	柳川 勝
事務事業名	木もれびの森づくり事業				
予算上の事務事業名	木もれびの森づくり事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード			22310	
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政 策 名	第2章 水やみどりの保全と創造に努めます				
基本施策名	第3節 みどりの保全と創造				事業開始年度
施 策 名	第1施策 みどりの保全と拠点づくりの推進				平成元年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	首都圏近郊緑地保全法、都市緑地法				
3 個別計画の概要	概要				
計画名	木もれびの森保全・活用計画			木もれびの森の保全・活用と計画推進体制についての基本方針、具体的な施策について定めるもの。	
計画年次	14	年度～		年度	
4 事業形態の区分	計画の策定・推進 ▼				
5 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果) (2) 対象(誰、何)				
木もれびの森は「近郊緑地特別保全地区」に指定されており、首都圏において良好な自然環境を有する森として非常に貴重な存在である。この木もれびの森の自然環境を将来にわたって低下させることなく保全するとともに、市民の憩いの場として有効に活用して行くことを目的とする。			木もれびの森(相模原近郊緑地特別保全地区)		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
<ul style="list-style-type: none"> ・「街美化アダプト制度」に基づく地元自治会の清掃活動(通年で月1回以上)への支援 ・ボランティア団体の活動周知看板の設置(16年10月) ・森床保護のための丸太ロープ柵の設置(ボランティア団体と協働で実施)(17年2月) ・木もれびの森保全・活用計画実施計画(活用編)の策定(17年3月) 					
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	3,701	2,640	4,235	5,514	5,514
一般財源	3,701	2,640	4,235	5,514	5,514
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	8,390	8,010	8,070	8,070	8,070
事業コスト合計(a)	12,091	10,650	12,305	13,584	13,584
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	街美化アダプト活動支援費			対象名称(単位)	市民活動団体数
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	3,395	2,545	2,522	2,522	2,522
対象数	11	11	9	9	9
単位あたり経費(円)	308,636	231,364	280,222	280,222	280,222
前年度比		0.75	1.21	1.00	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	活動対象緑地面積 (ha)	指標式と指標の説明		木もれびの森のうち、市が使用貸借契約を結んでいない緑地を除き、アダプトによる清掃が行われている緑地	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	60.3	60.3	60.3		
目標	60.3	60.3	60.3	60.3	60.3
目標達成度	1.00	1.00	1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	市民活動度 (%)	指標式と指標の説明		アダプトによる清掃等が行われている緑地/(木もれびの森の面積 - 使用貸借未契約地の面積) * 100	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	100.0	100.0	100.0		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度	100.0	100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
B	<input type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[良好な状態を維持する事業			
	[概ね良好な状況である事業			
	[見直しを行う必要がある事業			
	[抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		現在も市民と協力して木もれびの森の保全・活用に取り組んでおり、引き続き実施して行きたい。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
木もれびの森保全・活用計画を推進し、保全するエリア、活用するエリアに応じたアダプト活動の支援を行う。			アダプト対象地の見直し(積極的に活用する場所に限定する)		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			